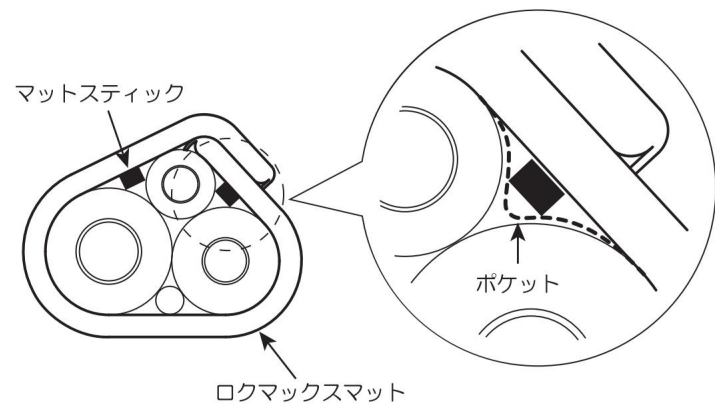
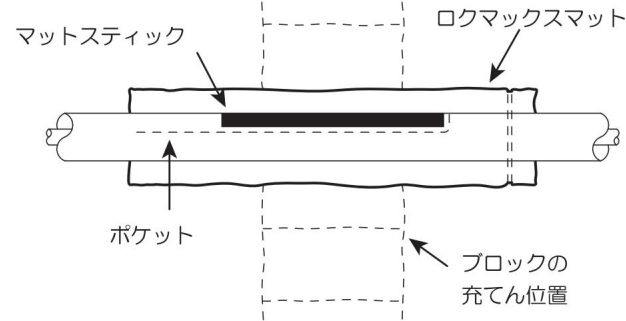


④

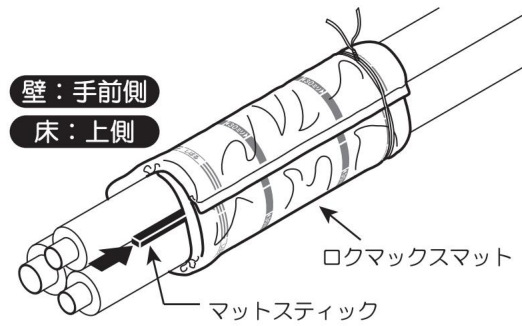
- 配管の谷間には、マットスティックをロックマックスマット内側のポケットに入れながら奥まで差し込みます。隙間が大きな場合は、複数本差し込みます。



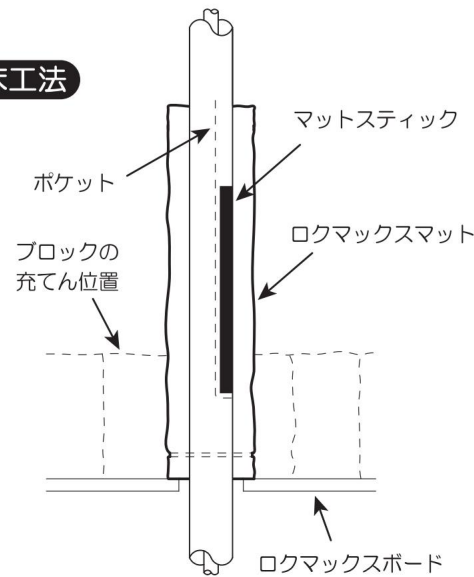
壁工法



壁：手前側  
床：上側



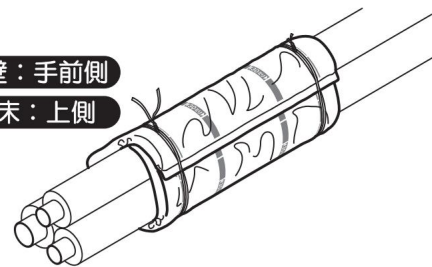
床工法



⑤

- ロックマックスマットの手前側（床の場合は上側）を結束バンドで縛ります。結束バンドの端は折りたたむか、適宜不要な部分を切断してください。
- 最後にロックマックスマットの状態と結束バンドにゆるみがないことを確認します。
- この後、ロックマックスマット周辺にブロックを充てんします。施工要領の詳細は、キット付属の取扱説明書又は施工要領書を参照してください。

壁：手前側  
床：上側



各種ケーブル・配管貫通部防火措置材

# ヒートメル® ロックマックス® マット

## 取扱説明書

本製品をお買い上げ頂きありがとうございます。ご使用前に本取扱説明書、施工要領書、国土交通大臣認定書をよくお読みのうえ、現場の状況に合わせて正しく施工してください。



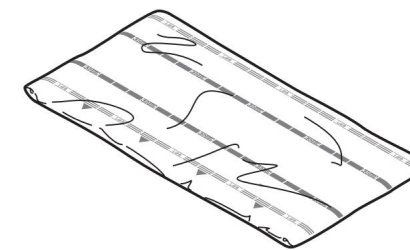
本製品のみでは認定工法になりません。  
必ず別売のロックマックス壁用キット、床用キット等と組み合わせてご使用ください。

〈品番一覧・構成材料〉はじめに、ご購入された商品が下記のとおり付属しているかご確認ください。

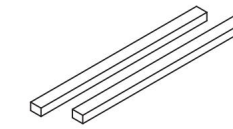
品番	ロックマックスマット		マットスティック (本)	結束バンド (本)	取扱説明書 (枚)
	サイズ (mm)	数量 (枚)			
RXMT-M	M	450×300	1	2	1
RXMT-L	L	600×300	1	4	
RXMT-10M	M	450×300	10	20	
RXMT-10L	L	600×300	10	40	

※ 本製品には、工法表示ラベルは同梱されておりません。

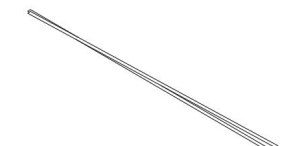
※ マットスティックは、まれにフィルム面にしわ・はがれ・切断面に小さな白いかたまりや穴があることがありますが、品質に問題はありませぬ。



ロックマックスマット



マットスティック  
(160×10×7mm)



結束バンド  
(φ0.8×700mm)



取扱説明書

## 代表施工例

※ 下記以外の施工図は、施工要領書でご確認ください。

鉄筋コンクリート壁	中空間仕切壁	
鋼製スリーブ上面施工	鋼製スリーブ下面施工	鋼製スリーブなし

※1 別売品 ※2 専用の鋼製スリーブ (AS12020 等)



- ロックマルの各部材とは、併用できません。
- 切断の際には保護具を着用してください。ケガの恐れがあります。

使用上のご注意

- 本製品は、一般屋内用です。屋外やそれに準じた環境下でのご使用はおやめください。
- 防水性能はありません。
- ケーブル、配管の支持機能はありません。別途支持してください。
- 防火措置材は、隙間ができないよういねいに施工してください。
- 床または壁貫通部の周囲に可燃物を置かないでください。
- 特殊な環境下で使用される場合は、事前に弊社または行政・確認検査機関にご相談ください。
- 工法表示ラベルは、弊社 H P にてご請求ください。

ケーブル防災設備協議会会員：古河電気工業株式会社

工法表示ラベルの発行に関しては、古河電気工業株式会社の委託を受けております。

技術事項のご相談・お問い合わせは  
株式会社古河テクノマテリアル 防災事業部  
TEL：0463-24-9341 FAX：0463-24-9346  
URL：https://www.furukawa-ftm.com/



# 適用ケーブル・配管

## ロックマックスマットの巻付け条件



ロックマックスマット1枚を配管1本ごとに巻付ける必要があります。

ロックマックスマット1枚で、複数の配管に対して一括で巻付け可能です。ケーブルも混在できます。

**⚠️** ロックマックスマットを連結して使用しないでください。  
1か所（1つの配管の束）に対して、1枚のロックマックスマットで施工してください。

ケーブル・電線管							
種類	巻付け条件	最大サイズ (mm)	種類	巻付け条件	最大サイズ (mm)		
ケーブル 〔配管に付随または隣接して敷設されたもの〕	複数管	導体サイズ 6600V 325mm <sup>2</sup>	波付硬質合成樹脂管 〔JIS C 3653 附属書 1 (FEP) 〕	複数管	φ67 (呼び径 50)		
合成樹脂製可とう電線管 (PF管、CD管) 〔JIS C 8411〕	複数管	φ64.5 [呼び径 54]	硬質塩化ビニル電線管 (VE) 〔JIS C 8430〕	単管	φ114 (呼び径 100)		
				複数管	φ26 (呼び径 22)		
空調衛生配管							
種類	巻付け条件	最大サイズ (mm)	保温材* 最大厚さ (mm)	種類	巻付け条件	最大サイズ (mm)	保温材* 最大厚さ (mm)
銅管 〔JIS H 3300、3320〕	複数管	φ54	38 〔合成ゴム系に限る〕	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 〔JIS K 9798〕	単管	φ114 (呼び径 100)	—
		φ44.5	20				
アルミニウム管 〔JIS H 4080〕	複数管	φ38.1	20	被覆付可とう塩化ビニル管 (断熱ドレンホース) 〔管の構成 外層・内層: ポリ塩化ビニル樹脂 断熱層: ポリエチレンフォーム〕	複数管	φ37 (呼び径 25)	—
硬質ポリ塩化ビニル管 (VP、HVP、HT) 〔JIS K 6741、6742、6776〕	単管	φ114 (呼び径 100)	なし	可とうポリエチレン管 (ドレンホース)	複数管	φ22 (呼び径 16)	—
	複数管	φ76 (呼び径 65)	20				
		φ32 (呼び径 25)	6				
結露防止層付硬質塩化ビニル管 〔管の構成 外層: 塩化ビニルスキン層 中間層: 塩化ビニル発泡層 内層: 硬質塩化ビニル層〕	単管	φ76 (呼び径 50)	—	銅管 〔JIS G 3442、3452、3454、3455、3456、3458、3460〕	複数管	φ48.6 〔合成ゴム系に限る〕	38
						φ42.7	20
	複数管	φ38 (呼び径 25)	—	ステンレス鋼管 〔JIS G 3447、3448、3459〕	複数管	φ50.8 〔合成ゴム系に限る〕	38
						φ42.7	20
※保温材の種類							
発泡ポリエチレン系、発泡架橋ポリエチレン系、発泡ポリウレタン系、発泡ポリスチレン系、発泡ポリプロピレン系、発泡フェノール系、発泡シリコン系、発泡難燃ポリオレフィン系（酸素指数 28 以上）、グラスウール（JIS A 9504）、ロックウール（JIS A 9504）、発泡合成ゴム系（ニトリル、ブチル、エチレンプロピレンゴム系）							

# 施工手順

※ ロックマックスマットの施工は、ブロック充てん前に行ってください

- ロックマックスマットのポケット側が内側になるように貫通物に巻き付けます。その際、ポケットの口が壁施工の場合は手前、床施工の場合は上側に向くようにしてください。
  - ロックマックスマットは連結して使用できません。1箇所（1つの配管の束）に対して、1枚のロックマックスマットで施工してください。
  - ケーブルラックの子桁がある場合は、ロックマックスマットが子桁の上に来るように巻き付けてください。
  - ケーブルラックの親桁、鋼材、貫通物の支持金具等のケーブル・配管以外のものをケーブルや配管と一緒に巻き付けしないでください。
- ロックマックスマット表面の「30 ミリ」の表示を目安に、巻き終わり部分のかぶりしろが 30mm 以上になるように重ねて、「しぼる」表示の位置を目安に結束バンドで縛ります。
  - 結束バンドは容易に外れないよう、数回ひねって軽く締め込みます。

